

第26回散策の会 等々力渓谷巡り

当初9月26日予定でしたが、雨天の予報だったため事前に休止し、約1ヶ月延期して11月7日(土)に行いました。
5月以来半年ぶりの散策で、17名の参加を得ました。

当日は予報より早く14時頃から雨が降り始め、あわてて近くのコンビニへ傘を買いに走る人々が見受けられました。
そのビニール傘といったら、相合傘でも充分余る大きさのものから、一人で差しても肩が濡れるくらい小型なものまで、
コンビニによってこんなに種類が違うのかとあらためて再認識した次第です。

●浄真寺(九品仏)(奥沢7-41-3)

駅前からまっすぐ参道が伸びています。こんなに参道の長いお寺は都内では珍しいのではないでしょうか。



浄真寺正門より参道へ

長い参道の真ん中あたりで説明を聞く

いよいよ境内へ

浄土宗の教えでは修行の程度、教えの理解度に応じて、極楽往生を9つの階層(九品)に分けています。
ここではそれを表現する9体の阿弥陀如来像が、3つの阿弥陀堂に分けて安置されています。



9つの階層の最上位(上品上生)では、往生の際、多くの菩薩や飛天がにぎやかに迎えに来てくれますし、乗り物は金剛台というものです。
最下位(下品下生)では、誰ひとり迎えに来ず、乗り物は金蓮花が配車されます。
そう遠くない将来、あなたを西方浄土から迎えに来るのは、どのランクでしょう?

●等々力渓谷(等々力1-22)



ゴルフ橋

渓谷へ直下行

川に沿って下る

等々力駅から2~3分でゴルフ橋が見えてきます。そこが渓谷の入り口です。

戦前に玉川野毛町公園一帯がゴルフ場であったため、このような名前がつき、未だにそのまま残っています。

ここは23区内にある唯一の「渓谷」です。世田谷区内の湧水を集めた谷沢川が国分寺崖線を削り、このような渓谷を作りました。

台地との標高差は10mほどで、川沿いに遊歩道も整備され、頭上は樹木が日陰をつくってくれるので、3~4度気温が低いといわれています。



横穴墓の説明と展示遺跡



不動滝



稚児大師堂と大師像



階段を昇って等々力不動尊へお参り



やっと地上へ！！



黄葉が水面に流れる約1キロの短いコースで、途中にある横穴墓・稚児大師像・不動滝・等々力不動尊を見学しましたが、日本庭園・武蔵野疊層は時間の関係で割愛しました。東京都の名勝に指定。



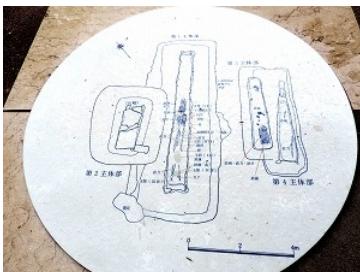
等々力渓谷で集合写真(実は5枚のうちこの1枚だけが全員写っていて…危なかった！)

●玉川野毛町公園(野毛1-25-1)

古墳を見たり登ったりする機会はそうはないと思い、今回組み込んでみました。

多摩川沿いには大きな古墳が50個位存在しています。この公園にある「野毛大塚古墳」はその1つで、高さ11メートル、直径82メートルの帆立貝式古墳で、5世紀前半のものといわれています。

明治30年から発掘調査が行われ、埴輪や鎧・兜・銅鏡などが出土しました。



帆立貝式古墳の上から全景

古墳の上からのぞき込む

発掘調査で見つかった品々

●満願寺(等々力3-15-1)

渓谷の途中にあった等々力不動尊の本堂です。本堂は日本芸術院賞や文化勲章の受章者である吉田五十八さんの設計によります。

数寄屋風の曲線が見事な屋根で、新しい中にも莊厳さが満ちています。

ただ工事中で、シートなどで風情がそがれたのが残念でした。



数寄屋風の美しい屋根



心を込めて一言願えば叶えて下さる地蔵尊



一言地蔵尊の説明書き

●散会後は希望者で恒例のお疲れさん会です。

場所は、5月30日優勝を決めた春の早慶戦のあとに有志で流れた「うおやー丁新宿西口店」でした。



乾杯の音頭は初参加の松村さん(51政経)

参加者（17名）

荒木・井垣・伊藤(徹)・梶川・国友・小山・佐藤(俊)・佐藤(良)・滝沢・竹内・中村・野村・堀田・松村・山本・定村(国友の友人)・千葉(国友の友人)

報告:佐藤(俊) 写真:荒木・国友